

2020

月刊「ニューメディア」

NEW MEDIA

<http://www.newww-media.co.jp>

1983~2020

37周年

メディアのビッグバンを伝えて37年
それは新技術・新サービスの軌跡

株式会社 ニューメディア

NEW MEDIA

2019年の月刊「ニューメディア」



1月号

新4K8K衛星放送開始
各局トップ「成功への情熱」

「量子アニーリングの父」
西森秀稔・東工大教授に聞く
世界初！「8K衛星放送システム」
IPSグループ マニラ中心地に光網構築



7月号

テレビはどこへ行く？

「NAB Show 2019」“衝撃”の現地レポート
「Interop/CMT」NHK・民放の技術提案
「ケーブル技術ショー」
光化・4K最新ソリューション



2月号

4K8K放送「普及課題と可能性」

「NHK 常時同時配信」
諸課題検証議論を論客が問う
政府「AI7原則」 検討会・須藤修議長に聞く
「SRT」とは何か？ 注目の次世代映像伝送技術



8月号

MMT入門

— 注目の異端経済学、その理論と政策 —
「NHK 技研公開2019」徹底レポート
そこで見た“未来へのほみ出し”
量子現象から着想の富士通「デジタルアニーラ」
創薬・素材・金融・物流で企業使用が拡大



3月号

華為ショック
華為排除と「米中新冷戦」の深層を
専門家を読み解く

三浦瑞麗氏、渡部恒雄氏、遠藤 誉氏が
華為排除と「米中新冷戦」を分析
AIとディスプレイ技術に注目
米国「CES2019」現地レポート



9月号

日本の5Gチャンス！
日本の5Gキーパーソン
総務省+4大キャリアが初座談会

対談
華為 任正非CEO×いで はく氏「北国の春」作詞者
特集 ラジオの現在地と音声メディアの可能性



4月号

5Gの世界動向

放送局各社が4K・2K
サイマル制作へ動く
米国CES 2019 詳細レポート
公衆回線映像伝送
プロトコル「R2TP」



10月号

スポーツ×ICT

北海道日本ハムファイターズ、
東京オリパラのICT戦略と構想
ラグビーワールドカップに5G多視点視聴サービス登場
8K HDRで水中洞窟潜水撮影
世界に類なきNHK潜水チーム



5月号

**量子コンピュータを
企業が使い始めた**

世界最大のモバイル展示会「MWC19」
5Gプラットフォームの最先端を現地取材
カナダD-Wave社などに聞く
次世代量子コンピュータ計画



11月号

**5G基地局メーカー×総務省
特別対談（前編）エリクソンとノキア**

「日本の5G」を支える5Gメーカー各社の技術と戦略
「放送の個人視聴データ」活用と課題を三教授に聞く
地域BWAが支えるローカル5Gの未来
通信大手・電力系・CATV「三つ巴の九州通信市場」



6月号

**坂村 健 教授の「令和元年」提言
「データ民主主義 2.0」**

世界初サービス開始 韓国の5Gを使ってみた！
認知症人口増加社会に対応
画期的政策「神戸モデル」
世界最大次世代ビジネスの祭典
米国「SXSW」現地徹底レポート



12月号

5G×ラグビーW杯

総務省×5Gメーカー対談 NEC・富士通
放送事業の成長戦略
英放送局の挑戦、日本の動き
ラジオ経営の羅針盤 研究会レポート
Inter BEE 2019 必見ポイントはこれだ

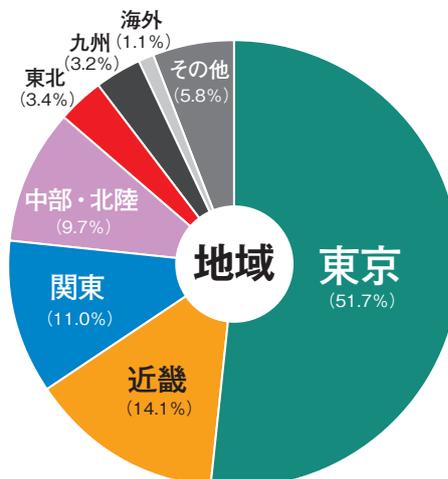
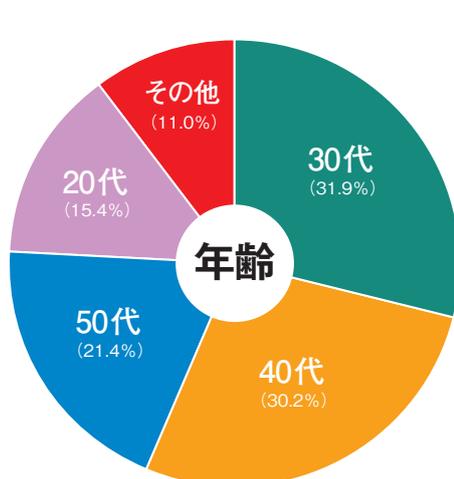
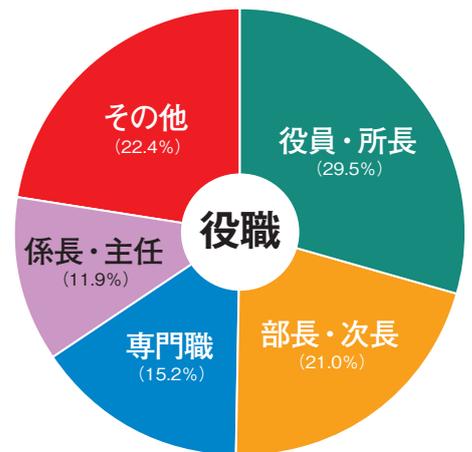
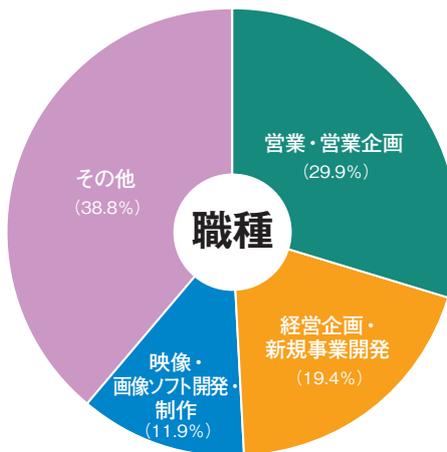
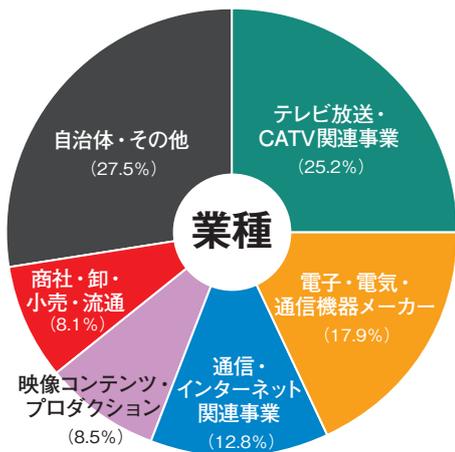
NEW MEDIA

■ 月刊「ニューメディア」発行概要

発行日	月刊発行（毎月1日発売）
創刊	1983年
発行部数	55,000部（定期購読者を中心に大手主要書店、Amazonなどネット書店にて販売）
体裁	A4判変型
価格	1,150円（税込） 年間12冊定期購読料：13,800円（税込、送料弊社負担）
編集長	渡辺 元
取次	トーハン、日本出版販売、楽天ブックネットワーク
都内取扱店	八重洲ブックセンター 八重洲本店、紀伊國屋書店 新宿本店、ブックファースト 新宿店、三省堂書店 神保町本店 丸善 丸の内本店、丸善 日本橋店、三省堂書店 池袋本店、ジュンク堂書店 池袋本店、書泉ブックタワー（秋葉原） MARUZEN & ジュンク堂書店 渋谷店

■ 読者基礎データ

情報感度の鋭い読者の多くは攻めの部署に在籍しています。
つまり、弊誌は時代を牽引するキーパーソンのアイデア・ソースになっているのです。



NEW MEDIA

■ 会社案内

会社名 株式会社ニューメディア
所在地 〒104-0061 東京都中央区銀座2-12-5 銀座NFビル TEL:03-3542-5231 FAX:03-3545-5843
創立 1985年7月
資本金 2,000万円
代表発行人 天野 昭

事業内容 ① 新技術、新事業の専門ビジネス誌として、他メディアと一線を画す徹底した調査、取材を行い、オピニオン形成と市場の発掘・発展促進を目指すメディア情報誌の発行

② 専門書含む単行本の発行

③ メディア業界の最先端テーマによる企画セミナーの開催
および視察ツアーの実施

Web サイト <http://www.newwww-media.co.jp>

主要刊行物 月刊「ニューメディア」①

NM新書 創業記シリーズ ②

NM BOOKS ③

『The FileBase Book』『The FileBase Book2』④

『われら知財派』⑤

『NHK会長 海老沢勝二が語る デジタル公共放送論』⑥ ほか

取次 トーハン、日本出版販売、大阪屋栗田



■ 主な広告クライアント (順不同)

パナソニック／華為技術日本／日本電気／イスラエル大使館／花王／日清製粉／西華産業／ミハル通信／ビデオ・テック／
 グラスバレー／NECビューテクノロジー／NECソフトウェア／NECインターチャネル／日本マクドナルド／IMAGICA／
 キヤノン／アスク／メディアグローバルリンクス／ヤマトシステム開発／さくら映機／ジャパン ケーブルキャスト／シンクレイヤ／
 ディズニー・チャンネル／ジェイスports／アストロデザイン／松浦機械製作所／日本ヒューレット・パカード／アサカ／
 中日電子／アニマックスブロードキャスト・ジャパン／日本通信機／ヒロテック／ヨーズマー／NHKアイテック／マスプロ電工／
 スター・チャンネル／FOXインターナショナル・チャンネルズ／日本BS放送／ワールド・ハイビジョン・チャンネル／DXアンテナ／
 ケーブル・ジョイ／伊藤忠ケーブルシステム／朋栄／サーティファイ／キッズステーション／釣りビジョン／メディアキャスト／
 エル・エス・アイ ジャパン／日本CATV技術協会／ジャパン・エンターテイメント・ネットワーク／イトーキ／報映産業／
 アビッド テクノロジー／アリス・グループ・ジャパン／デジタルプラネット衛星放送／日本ケーブルテレビジョン／マイクロソフト／
 電子情報技術産業協会／スカイビジョン／囲碁将棋チャンネル／日本ケーブルテレビ連盟／関電工／ブロードネットマックス／
 古河電気工業／富士通ネットワークソリューションズ／放送大学学園／メディアネットワークソリューションズ／ファミリー劇場／
 ジャパンイメージコミュニケーションズ／富士通／日活／NTT／NTTコムウェア／NTTソフトウェア／NTTドコモ／電通／
 NTT-ME／NTTファシリティーズ／東芝／ソニー／日立製作所／日立エンジニアリング／日立国際電気／三菱電機／
 クアルコム／フジクラ／日本アイ・ビー・エム／NHKテクノロジーズ／日本アルカテル・ルーセント／インターテック／
 データブロード／ナノオプト・メディア／KDDI／アルフレッドコア／加賀電子／ARA Networks／ラムダシステムズ 他



NEXT30

今後の日本社会を展望する、月刊「ニューメディア」独自の研究活動

今、日本社会が抱える課題をメディア産業からフォーカス。テーマに即した外部のオピニオンリーダーを講師に、オープンな場として研究セミナーを開催。NEXT30はアドバイザー、スポンサーメンバーの参画によって活動しています。

※活動は2016年で終了しました。

「これまでに研究セミナー」

(2015年4月現在)
*役職等は講演当時のものです。

NEXT30アドバイザー



増田寛也氏 廣瀬通孝氏 杉本誠司氏

野村総合研究所顧問 東京大学大学院教授 ニワンゴ代表取締役社長
日本創成会議座長

スポンサーメンバーのメリット

- 業種を超えたキーパーソンとの縁づくり
- 提言、宣言への立案参画とアピール
- Boardメンバー会議へ参加
- 研究テーマへの意見、要望の反映
- 研究活動の記録をほぼリアルタイムで入手可能

スポンサーメンバーには、(株)NHKエンタープライズ、(株)NHKメディアテクノロジー、NTTぷらら、(株)アイセック・ジャパン、ジャパンケーブルキャスト(株)、(株)電通 電通総研、(株)ビデオ・テック、(株)丸八ホールディングス、(株)オクトシステムサービスらが参画 (2015年4月現在)。

- 第1回 「TPPにおける知財戦略と日本のメディア産業力強化」
講師：甘利 明氏 経済財政担当大臣
角川歴彦氏 (株)KADOKAWA 取締役会長
- 第2回 「次世代携帯電話の情報革命技術とサービス」
講師：松本徹三氏 ソフトバンクモバイル(株) 特別顧問
渡辺文夫氏 (株)KDDI研究所 代表取締役会長/工学博士
吉崎正弘氏 前総務省総務審議官
- 第3回 「人口減少・極点社会が激変させるメディア市場と対応戦略を考える」
講師：増田寛也氏 野村総合研究所顧問、日本創成会議座長、元総務大臣・岩手県知事
廣瀬通孝氏 東京大学大学院教授
- 第4回 「福島第一原発の廃炉への道程とロボット技術について」
講師：及川清志氏 技術研究組合・国際廃炉研究開発機構理事
- 第5回 「ネットワーク空間の社会と今後の展望」
講師：杉本誠司氏 (株)ニワンゴ代表取締役社長
原 丈二氏 アライアンス・フォーラム財団会長
- 第6回 「消費税軽減税率の適用範囲」
講師：西田実仁氏 公明党参議院幹事長・公明党税制調査会事務局長
金 時文氏 「東洋経済日報」編集局長
- 第7回 「条件不利地域への放送・通信インフラ整備」
講師：今川拓郎氏 総務省地域通信振興課長
鈴木信也氏 総務省衛星・地域放送課長
中原 淳氏 国土交通省参事官
- 第8回 「QVCスクエア視察と佐々木迅QVCジャパン社長のプレゼン」
講師：佐々木迅氏 (株)QVCジャパン代表取締役社長
- 第9回 「仕事がない過疎地だから、仕事を持つ人を呼ぼう」
講師：大南信也氏 NPO法人グリーンバレー 理事長
角川素久氏 Sansan(株)CWO
隅田 徹氏 (株)えんがわ 代表取締役社長
- 第10回 「確固たる『ジャパン・ブランド』を打ち立てる国際戦略づくり」
講師：森 清氏 総務省 情報通信国際戦略局局長
高橋一之氏 北海道テレビ放送 営業局国際メディア事業部長
- 第11回 「災害大国日本における国土経営の再考」
講師：大石久和氏 元国土交通省 技監、一般財団法人国土技術研究センター 国土政策研究所所長
田村秀夫氏 国土交通省 大臣官房審議官
池田豊人氏 国土交通省 大臣官房技術審議官
- 第12回 「成熟社会の『少子高齢』の宿命に立ち向かう」
講師：井上秀雄氏 トヨタ自動車(株) 先進自動車研究プロジェクトリーダー
増田寛也氏 野村総合研究所 顧問、日本創成会議 座長、元総務大臣・岩手県知事
- 第13回 「広告表現の未来 ～メディア急進化時代の広告表現～」
講師：福田敏也氏 トリプルセブン・インタラクティブ 代表取締役
中島信也氏 (株)東北新社 取締役
- 第14回 「世界最大の気象情報会社ウェザーニューズの心臓部を見学する」
講師：森田清輝氏 (株)ウェザーニューズ 執行役員
石橋知博氏 (株)ウェザーニューズ 執行役員
- 第15回 「日本発『8K医療応用』をリードする技術開発の課題」
講師：千葉敏雄氏 日本大学総合科学研究所・教授
小池康博氏 慶応義塾大学・教授
谷岡健吉氏 メディカル・イメージング・コンソーシアム副理事長
黒木義彦氏 (株)コンフォートビジョン研究所 代表取締役社長

Xデー勉強会の開催

- 専門誌編集部らしい厳選テーマで“勉強”
編集部が取材した「勉強したい」テーマで独自企画
- 新技術、新製品、新動向などを共同で企画する“勉強”
企業各社と連携した企画セミナーも立案。もちろん本誌編集部らしい「参加者募集」をサポート

 “稀薄とし” Xデー勉強会で記念の一写。前に並ぶのは講師の 電通総研 の方々	 ニコニコ動画 の杉本氏とじっくり考えた「動画共有のコミュニケーション力」とは (3回の開催)	 Twitterカンパニー (デジタルガレージ社)の佐々木EVPを講師に、ネット接続でTwitterの最新を勉強 (2回の開催)	 USTREAM Asia の中川氏のプレゼンを聞き、ライブ配信プラットフォームの生かし方を意見交換	 NHKエンタープライズ の今和泉氏がIFAとIBCのビジネスコンベンションから「欧州のIPTV/OTTおよびSmartTV関連の最新動向」を報告	 ISSP 代表理事の会津氏に聞く「東日本大震災 情報行動調査」の分析	 本誌連載でおなじみの 電通総研 チーフ・メディア・リサーチ長野氏が読む「スマートデバイスによる新たなコミュニケーションの兆し」	 好評連載の在米ITアナリストの テッド若山氏 が提起する「アメリカのコードカッティングは対岸の火事か」	 GEATEC2011講演で話題となったデジタルAV評論家の 麻倉特士氏 の「スマート“な”テレビ」提案を聞く	 4月1日開局 NOTTV の上瀬顧問 (技術担当) が解説したVHF-High帯のモバイル放送の技術特徴
 USTREAM Asia の2回目 (再試合) は山本氏の最新動向とビジネスモデルの提案を“夜学”	 激烈連載「社会課題とビッグデータ」筆者の 野村総合研究所 ・鈴木氏が「放送におけるビッグデータの活用」提案	 「インターネット上のスポーツ映像ビジネス〜世界と日本」を 国立スポーツ科学センター ・スポーツ科学研究部の宮地力副主任研究員が紹介	 月のユニークユーザーが1,000万を突破したradiko。IPベースの配信システムを メディアプラットフォームラボ の香取氏に聞く	 テレビの次はどのようなスマートTVと動画ビジネスの将来展望をITコンサルタントの 高木氏 が報告	 元読売新聞東京本社編集委員の 鈴木氏 が放送分野の記者27年の経験から直言「テレビは進化しているか?」	 テレビの画質から見える日本メーカーの実力と今後について、オーディオ・ビジュアル評論家の 藤原氏 と考える	 NHKエンタープライズ の今和泉氏がIFA/IBC等の取材映像を交え「欧州ネットワークTVとマルチスクリーン対応の最新事例」報告	 ポスト地デジ時代と視聴率について ビデオリサーチ ・尾関氏が提案	 テレビ60年の歴史をNHK放送博物館で 高尾氏 の解説で勉強
 視聴率とツイッター指標づくりに関して ビデオリサーチ ・長島氏に可能性と課題を聞く	 電通総研 の奥氏と庄野氏による「スマホ時代のインパクトを広告メディアの視点から整理する」 (2回開催)	 LINEを活用した新たなマーケティング手法を LINE ・出澤氏が説明	 放送と通信を結ぶTVメタデータについて EM・データ 薄井氏に学ぶ	 JoinTVから得た手ごたえとソーシャル連携サービスの今後について、 日本テレビ の安藤氏に聞いた (2回開催)	 4K/8Kテレビ時代のメディア・産業・文化の姿について NexTV・F の元橋氏に聞く (3回開催)	 新映像符号化技術「HEVC」について NEC の蝶野氏から学ぶ (2回開催)	 次世代ゲーム機からゲームビジネスの変化をジャーナリストの 西田氏 に聞く	 メディア界隈でも活用されるアマゾンクラウドについて アマゾンデータサービスジャパン の北迫氏から学ぶ	

本誌企画による海外ツアー

主な海外メディアビジネスツアー

- 1月：CES 全米放送業大会 (アメリカ/ラスベガス)
- 2月：MWC (スペイン/バルセロナ、マドリード)
- 3月：SXSW (アメリカ/テキサス)
- 4月：NAB 全米放送業大会 (アメリカ/ラスベガス)
- 6月：ブロードキャスト・アジア (シンガポール)
- 9月：IFA 国際コンシューマ・エレクトロニクス展 (ドイツ/ベルリン)
IBC 国際放送機器展 (オランダ/アムステルダム)
- 不定期：韓国 4K地上波・ケーブルテレビ・IPTV ツアー (韓国)



Dolby Laboratories本社で研究開発用のドルビーシアターを見学 (2018年1月)



CES 2018で有機ELディスプレイ256枚による巨大ビジュアルモール (2018年1月)

NEW MEDIA

■ 広告料金

* 広告会社様へ 掲載金額は税別、ネット料金です。

掲載面	色	スペース	広告料* (税別)	雑誌掲載サイズ (天地×左右)
表4	4C	1P	¥700,000	252×196 mm (塗足5mm)
表2	4C	1P	¥600,000	275×210 mm
表3	4C	1P	¥500,000	275×210 mm
記事中	4C	1P	¥500,000	275×210 mm
記事中	1C	1P	¥300,000	275×210 mm
記事中	1C	横 1/2P	¥150,000	125×210 mm
記事中	1C	横 1/3P	¥70,000	80×210 mm
記事中	1C	横 1/4P	¥50,000	60×210 mm
目次ページ	4C	横 1/4P	¥90,000	60×210 mm

* 編集タイアップの場合：純広告料金+制作実費30万円 / 1頁

■ 広告入稿のご案内

- 広告原稿は完全データで入稿してください。
 - データの媒体 (ファイル転送サービス、CD、DVD など) および形態は何でも可能です。
 - データ入稿時には、以下の3点が揃っているか、ご確認ください。
- 異なる広告を複数入稿する場合、それぞれに下記 **3点セット**が必要となります。

■ 3点セットに関するご案内

1. データ入稿表 データの内容を以下の項目で表示してください。

- ① 入稿日
- ② 広告名称
- ③ データ制作社名・担当者名・連絡先
- ④ 制作環境 (OS・バージョン、制作アプリケーション名・バージョン、使用フォント)
- ⑤ 入稿形態
- ⑥ 色見本の有無

*注意 ・サイズを確認の上、トンボ付きのデータをご用意ください。
・塗り足しが3～5ミリ必要です。

2. データ (媒体) 広告原稿のみ保存してください。

- ① ファイル転送サービス、CD、DVD、USB など形態は問いません。
 - ② イラストレーターで入稿の場合
 - ・アウトライン済みデータを入稿した上で、不測の事態に備え、アウトラインを取っていないデータを併せてご入稿ください。
 - ・画像は基本的に「配置」にし、「埋め込み」は避けてください。
- *注意 ウイルスチェックの上、書き込み・保存をお願いいたします。

3. 出力見本

- ① 印刷仕上がりの確認ができるもの、出力カンパ、印刷物、PDF。
- ② 必ずアウトライン済みの状態で、最終データを出力してください。
- ③ カラー原稿の場合はカラーの出力見本を、モノクロ原稿の場合は、モノクロの出力見本をご用意ください。